

TAKE OFF! いんくる通信 No.2

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

◎オリンピック

初めて南米大陸で開かれたリオデジャネイロオリンピックも終わり、日本選手団は過去最多のメダルを獲得しました。今回のオリンピックではメダリストがその喜びを表すとき、自分の功績を喜び誇る前に、一様に支えてくれた家族やコーチをはじめとする周囲への感謝を表していたことが印象的でした。

このところ、東日本大震災とそれに続く福島原子力発電所の事故のように、その前ではあまりに非力な人間を意識せざるを得ない天変地異や大規模な事故が連続して起きています。ISによるテロも全世界で頻発し、多くの方が亡くなっています。入所施設で起きた残虐な事件のように、様々な弱い立場にある人にさらに刃を向けるような凶悪な犯罪がありました。また、当たり前のようにヘイトスピーチが毎週末に繰り返されています。社会の在り様が歪み崩れているような不安感が満ちる中、才能と機会に恵まれたスポーツエリートでさえ、助け合うことや周囲を思いやることの大切さを実感することが多かったのでしょうか。オリンピックに続くパラリンピックもいつになく報道される機会が増えています。

かつてオリンピックは経済的な発展途上にある国が成長する契機となってきました。今後は様々な壁に突き当たり、隘路に難渋する現代社会が新たな道に自ら気づききっかけになっていくのでしょうか。 (鈴木 誠)

◎特別講座開催「ネットトラブルに遭わないために」

近頃、スマートフォンの普及により、インターネットがとても身近になりました。皆さんの中でも、「インターネットを利用している」という方は多いのではないのでしょうか。



インターネットは楽しく便利なものですが、トラブルに巻き込まれる危険も少なくありません。

そこで、先日、武蔵野市消費生活センターから関口相談員を講師にお迎えし、「ネットトラブルに遭わないために！」という特別講座を開催しました。皆さん真剣な表情で話をきかれており、受講後のレポートからも、しっかりと学ばれた様子がうかがえました。今回の講座は、インターネットの使い方を見直すことは勿論、トラブルが起きたときには一人で抱え込むのではなく、誰かに相談することが非常に大切であると改めて確認する機会になったと思います。インターネットを利用する以上、誰もがトラブルに遭う危険性があります。しっかり自衛していきましょう！ (猪狩真紀子)

◎薬師縁日

8/3(水)・4(木)に武蔵野市八幡町にある延命寺で薬師縁日が行われました。毎年、地域の商店街や振興会の方々が縁日を盛り上げます。



今回はいんくるのメンバーにもボランティアでの参加を募り「和太鼓千川組」のブースに仲間入りし出店のお手伝いをしました。おもちゃ売り、スーパーボールのコーナーには小さな子供達で店先が賑わいます。いんくるメンバーには、開店の準備や販売、接客の依頼がありました。「いらっしゃい！いらっしゃい！」と声を出し、「ありがとうございました」と見送る。「これちょうだい」と来た方には説明をして代金を頂く。持ち帰りの袋を用意する。自然と自分の役割を見つけていきます。この地域イベントの参加を通じて客という立場ではなくお店側から見るお祭りはどう感じたのでしょうか。「難しかったです」「お店側で参加することは始めてでした」「沢山の人が来てくれて嬉しかったです」など体験で感じたままの気持ちを伺うことができました。 (小池 陽子)

◎プログラム紹介「商品管理」

今回ご紹介する就活プログラムは、「商品管理」です。このプログラムのコンセプトは、「事務オフィスでの協働」です。事務職を志向されるご利用者が、様々な事務作業を遂行しながら、職場で必要なコミュニケーションを実践し、事務の現場で働くイメージを掴んでいただくことを目指しています。このプログラムでは、参加者は「一部門の所属員」という環境設定をしています。部の名称は「商品管理部」、そこに「商品課」と「管理課」があります。部門の組織図、各課の業務内容を参加者が WORD で作成し、プログラム開催時にはそれらをホワイトボードに貼り出しています。

両課の主な仕事は、以下のとおりです。



商品課:① 2人でペアを組み、注文書を見ながら相手に注文内容を伝える。②注文を受けた相手はそれをメモに書きとめる。③メモの内容をPCに入力し請求書を作成する。④メモした内容の商品をピックアップする。⑤ピックアップした商品、請求書をペアの相手に検算依頼する。⑥検算後のピックアップ商品を管理課に返却依頼する。(※前述①～③の業務の変わりに、注文書を見ながら単独で電卓計算するチームもある。④・⑤は同様に実行)

管理課:①ピックアップ商品ケースの主管部門として、商品ケースの整理や商品課からの依頼により商品をケースに返却する。②職員からの作業依頼書に基づき、事務軽作業(新聞スクラップ、社内便封筒作成、メモ用紙作成、PCでの資料作成 etc)を実行する。

このプログラムでは、「協働」の体感・実践を図るため、プロ



グラム中の作業遂行に関しては参加者間での話し合いを第一義としています。始めはコミュニケーションにぎこちなさが見られる方もいましたが、皆さん回を重ねるごとにどんどん話しかけや聞きとりが上手になっています。ただし、コミュニケーションは個々に苦手の度合いが異なるので、ある程度慣れるまでの間は、職員側でコミュニケーション機会が少なくできるような工夫も施しています。

当プログラムを通じて、事務作業スキルやビジネスコミュニケーション力を向上させながら、参加者が「協働」することの楽しさ・大切さを感じ取っていただけるようなプログラム運営をしてみたいです。(吉田 友一)

◎平成28年度 就職者の状況

平成28年度は8月1日現在で3名が企業に就職しました。

Aさん アブラック・ハートフル・サービス株式会社 様

Bさん 株式会社コヤマドライビングスクール 様

Cさん 株式会社LEOC 様

(平成28年8月1日現在 就職者累計19名)

【職員紹介】

中央図書館作業担当 神田 百合子

5年前から図書館で雑誌業務のスタッフとして働いています。また、昨年からはけやきで事務作業もしています。皆さんとは、事務作業で直接かかわりはありませんが、たまに封入封緘の作業をすることもあります。図書館では一緒に仕事をすることがあるかと思います。一緒に働くことで少しでも皆さんのお手伝いできればと思います。

武蔵野プレイス作業担当 丸尾 浩子

私は武蔵境駅前にある“ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス”の図書館に勤務しています。ここで朝から600タイトルある雑誌の配架、装備、修理をしています。武蔵野プレイスは「図書館」「生涯学習」「市民活動」「青少年活動」の機能を併せもった施設です。1Fにはカフェもあり、前には「境南ふれあい広場公園」の芝生が広がります。この素晴らしい環境の中で皆さん、是非一緒に働きましょう。

センター作業担当 岡本 恵子

私は今、畑を借り、週末は野菜作りをしています。土を弄っている時は心も穏やかにリラックスできます。ラディッシュ、レタス、人参、トマト、えだ豆、大好物のパッションフルーツなどを収穫しました。全くの素人なので美味しい野菜を育てるには、まだまだ勉強が必要ですが、添加物、保存料などを使用していないのがとっても魅力的です。皆様も就職に向けてスキルアップに加え、身体作りにも心がけて下さい。

Take Off! いんくる通信 No.2 2016.09.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>